

静岡県高体連空手道専門部新人大会におけるコロナ感染予防対策

大会実施に伴い、新型コロナウイルス感染対策ガイドラインを踏まえ、実施するための空手道専門部ガイドラインを作成しました。

目的：三密を避け、生徒及び大会関係者の感染を最大限抑止するため

1 コロナ感染防止における予防措置について

(1) 新人大会参加時での休校措置について

- ① コロナウイルスにより学校が休校の場合、自粛要請のため大会を辞退とし、棄権扱いとみなす。  
尚、3校以上の休校の場合、大会運営に支障が出るため、新人戦を延期にします。

(2) 新人大会当日での予防調査について

- ① 当日、体温が37, 5℃以上の場合、いかなる理由があっても大会には参加させない。また、適切な処置をとり病院へ行かせる。  
大会時の朝、計測し、会場にて再度計測を行い、手に消毒をしてから（役員・顧問・選手同様）入場とする。
- ② 顧問は事前に配布した大会参加同意書（保護者記入）別紙1と健康調査票（生徒記入）別紙2を必ず記入させる。  
大会参加同意書別紙1は顧問が保管し、健康調査票別紙2については空手道専門部で保管とする。  
尚、大会ごと提出とする。健康調査票については、当日入場が確認した後、各学校で集める。
- ③ 健康調査一覧表別紙3については、健康調査票別添2の記録をもとに顧問が確認し、大会本部に提出をする。

(3) 大会時における予防措置について

- ① 県武道館第一・第二道場での人数制限あり（300名以下）において大会運営を行わなければならない。
- ② 大会前・終了後は、使用する・した箇所は必ず消毒を行う。
- ③ 役員（顧問・生徒含む）・選手・審判員・顧問・医師・看護師・応援（空手道部員に所属の生徒）・記録係（保護者）並びに学校長の許可を得た指導者含め2名のみとし、無観客とする。
- ④ 応援について、自校選手にたいしての応援は拍手のみとする。声援での応援はしない。また、練習や競技中での必要以上の気合いはしない。（ハイタッチ・握手・ハグ・円陣は禁止とする。）  
※組手：競技中技を出した時のみ可。形：競技中、形名・指定された技での気合い時のみ可。
- ⑤ 入場者全員は必ず、マスクを着用する。各自または部活動で用意する。

選手について

・形選手の練習においては熱中症を考慮し、マスクの着用は必ずしなくてもよい。また、試合競技ではマスク着用をしなくてよいとする。

・組手選手においては対面での練習及び試合中は安全具（メンフォー）を着用する。その際、口元に飛沫防止のため、マスクではなく透明テープを貼り防止に努める。

・役員・顧問もマスクの着用をする。審判員は、シールドマスクを着用して行う。

（審判員については高体連空手道専門部で用意をする。）

※マスクの使用については、熱中症に注意、水分補給をこまめにとるように心がけてください。

- ⑥ 医師については1名、組手競技(2日間)、看護師については3日間1名常駐させる。

## 2 その他、実施に伴う注意事項について

### (1) 災害（暴風及び台風）における確認事項

- ① 静岡に事前に上陸の予報がなされ、且つ警戒レベル4(避難勧告)に相当する恐れがある場合、各役員と相談し、延期の判断を行い決定し各顧問へ連絡をする。
- ② 当日、朝6時の時点で静岡県において暴風警報が発令された場合、延期とします。
- ③ 災害により、各施設が利用できない場合は、延期とする。
- ④ 当日、災害により公共交通機関が、寸断され復旧の目途が立たない場合、延期とする。  
ただし、台風が通過し、復旧の見込みのある場合は、状況を判断し続行する可能性もあります。